

ひろしま自然保育認証制度 活動報告書

1. 団体名 東広島市立河内西保育所

2. 今年度の活動概要

①環境構成に関すること

園庭づくり ・たき火のうどを地域の沼田川から石を運び作成。

(自然アドバイザー派遣)

・低い築山とミニ砂場 0～3歳児も木々の間のフィールドで
草や花で遊べる空間作成。

・つどいの広場にピザ窯設、香りのガーデンにハーブ園設置。



活動フィールドの整備

- ・小道の整備
- ・庭木の肥料入れ（腐葉土と燻炭を混ぜたもの作成）
- ・腐葉土作り



②遊びの事例・子どもの育ちに関すること

・河内西保育所の園庭には様々な木々がありますが中でもシンボルツリーの楓の木があります。この木は四季折々の表情を見せてくれ、子ども達が大好きな木であり葉っぱで様々な遊びが広がります。他にも木の葉遊び、木の実の収穫、木登りなど沢山経験しました。

草花での遊びでは花のお弁当作り、柏の葉でお面作り、松葉相撲、葉っぱや花の氷、ハーブバスボム、どんぐり迷路、落ち葉の仮面、虫探し、観察など様々なあそびを子ども達が主体的に遊ぶことで学びがありました。中でも、虫探しでは子どもたちは振り返りタイムで情報共有し、虫が住んでいる場所、食物は何かなど対話が広がり継続して観察した。秋になると何度も園庭を歩き回り、夏にいた虫も見当たらなくなったこと、その不思議さと寂しさ、命に向き合う子どももいました。とことん自然と向き合う姿に子ども達の感動のドラマがありました。

他にも、たき火のうど作りは焚き木の作り方で初めて鋸で切る、マッチの使用を体験したが集中する子どもの真剣なまなざしがとても印象的だった。

活動フィールド整備や地域の道路清掃活動を子ども達と作業を行い、大きいスコップ、熊手、テミ、など道具を使用し、逞しく活動し大きな経験となっている。

様々な活動を子ども達主体で行うことで「今日もこれやりたい!」「これやろう!」など意欲も育ち、自然と触れることで生命を感じ、思いやりも育ちました。



③自然体験活動の実施にあたっての工夫

- ・アウトドア参加日を行い、親子で園庭の木々への肥料入れやめだまっち遊び、風を感じよう遊びなど一緒に体験し、自然保育についての理解が得られた。(保護者理解)



- ・地域の方との関わりを持つことにより、沼田川の自然、地域の方の田んぼの生き物や田植えの見学、裏山の散策など、自然体験活動フィールドが広がった。(地域との関わり)
- ・アクションプラン推進研修で「子どもと自然」環境を通して行う保育～を研修し、自然保育の原点、私たちはあるがままの自然に力を借りて、自然界からメッセージを受け取る力を養うなど様々なことを学んだ。(職員の資質向上)